

歴史の道万世大路を今に活かす地域づくり



歴史ある万世大路の整備・保全

<活動内容>

現在の国道13号ができるまで、福島と米沢を結んでいた「万世大路」を保存するため、米沢市万世地区の約1,100戸が会員となり、平成18年度から地域全体で万世大路の保存・PR活動している。平成24年度に万世大路が選奨土木遺産に認定されたことから、現在の団体名に変更した。毎年2回の除草や倒木の処理等の保存活動とともに、散策会や校外学習を開催して万世大路をPR。今年はインフラツアーでボランティアガイドを実施し、県外の観光客にもPRするとともに、観光客との交流を図っている。



民間会社と連携したインフラツアー

活動主体

歴史の道土木遺産万世大路保存会

対象となる社会資本

万世大路(旧道) ※管理者:米沢市